

## 龍潭寺について

龍潭寺は 733 年に創設された臨濟宗（禅宗）の寺院です。浜松市中心部の北に位置し、井伊谷川の近くにあります。龍潭寺は、荘厳な屋根を頂く本堂や朱塗りの楼閣造りの開山堂など、日本の伝統的な禅寺建築の特徴を備えています。そのため、伽藍の 6 棟はいずれも静岡県の指定有形文化財（重要文化財）として保護されています。龍潭寺は、初代当主が誕生した 1010 年まで遡ることができる日本の名家、井伊家の菩提寺です。井伊家は日本の歴史上の重要人物を多数輩出しています。龍潭寺庭園は井伊家が一族の存続の危機という苦境を乗り越えた 1 世代あとに、将来、代々の子孫が戻って来て、先祖に敬意を示すことができる場所として築られました。

現在龍潭寺は、本堂の裏にある庭園で有名です。この庭園は 1936 年に国の名勝に指定されました。設計したのは、日本の名高い芸術家・大名である小堀遠州（1579～1647 年）です。小堀はこの庭園のほかにも、著名な日本庭園の設計を多数手がけています。